

3

親子で体験 県内3ジオパーク 「みんなの石」(対面講座)



講座概要

太古の昔、私たちが住んでいる新潟県は火山活動が活発な場所で、その痕跡は県内3ジオパークの「石」や「化石」に見ることができます。糸魚川ジオパークの石灰岩の山は火山島のサンゴ礁、佐渡ジオパークの斜めに傾いた地層面は隆起した海底、苗場山麓ジオパークの巨大な石の崖は火山噴火で溶岩が流れ出た跡です。もう一つの新潟県の特徴として、「フォッサマグナ」と呼ばれる日本列島を東西に分ける大きな溝の存在があります。この大きな溝は、日本列島全体が大きく動いていることの「証(あかし)」で、糸魚川ジオパークの東部や苗場山麓ジオパークは、この「フォッサマグナ」の中に位置しています。

この講座では、県内3ジオパークの「石」について解説しつつ、実際に、糸魚川ジオパークの現地から採取した「石」を手にとることで、「石」が持つ魅力や「石」に秘められた太古の地球の営みに思いを馳せます。

日 程	講義 題 目	講 義 内 容	講 師
7月22日(土) 13:00~15:00	(前半:約40分) 「石」のお話を 聞こう!	県内3ジオパークに見られる多様な地層や岩石を紹介します。その地質学的な特徴と歴史を知ることで、ジオパークによって異なる「石」に対する理解を深めます。アンモナイトや放散虫など、「化石」も登場します。	自然科学系(理学部) 教授 松岡 篤
	(後半:約80分) 「石」を手にとって みよう!	糸魚川ジオパークの現地で採取した「石」を手にとって、感触や色の違いなどから、「石」が持つ魅力を皆さんと一緒に考えます。また、「ヒスイ」の見分け方を伝授します。	フォッサマグナ ミュージアム 学芸員 茨木 洋介 自然科学系(理学部) 教授 松岡 篤